



# なばりしないしょうがっこう ことし ほん 名張市内小学校の今年のおすすめ本！

ことしかくこう がっこうとしょかん はい ほん なか としよだんとう せんせい ほん しょうかい  
今年各校の学校図書館に入った本の中から、図書担当の先生のおすすめ本を紹介いたします！

**名張小学校**  
『コミック版 世界の伝記』  
漫画：よしだけんじほか 発行：ポプラ社  
世界の偉人は名前だけ知っていて、何をした人なのか知らないことが多いです。まんがなら、身近に感じ、わかりやすく思います。

**蔵持小学校**  
『世界を変えるSDGs』  
監修：こばやしめぐみ 発行：あかね書房  
総合的な学習の時間を使ってSDGsの学習をしており、身近なところから考えていくことで、世界がよりよく変わっていくから。

**薦原小学校**  
『ようかいむらのびっくりゆうえんち』  
作：たかいよしかず 発行：国土社  
いろいろなようかいが出てきます。こわくて、おもしろいお話が好きな子にぴったり！！

**比奈知小学校**  
『おしごと年鑑2020』  
監修：たにかずみ 発行：朝日新聞社  
世の中にあるたくさんの仕事や、いろいろな工夫を知ることができる本です。物知りになって、毎日の生活がもっと楽しくなれることが紹介されていますよ。

**美旗小学校**  
『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』  
作：ひろしまれいこ 発行：偕成社  
ふしぎな駄菓子屋「銭天堂」でくりひろげられる話がおもしろく、悩み事を解決してくれるところがよい。中学年で借りている児童が多く、新刊を楽しみにしている様子。

**箕曲小学校**  
『ゆげゆげ〜』  
作：さいとうしのぶ 発行：教育画劇  
小学1年生への読み聞かせとしておすすめ。"ゆげゆげ〜"というセリフはみんなで口に出すなどして楽しく読むことができました。冬に読んだので、温かな気持ちになる1冊でした。

**錦生赤目小学校**  
『おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」』  
監修：たかしままこと 発行：日本図書センター  
あたりまえのことが、とても大切であるということを見本でわかりやすくしょうかいしてくれる本です。

**桔梗が丘小学校**  
『文様えほん』  
著：たにやまあやこ 発行：あすなろ書房  
高学年に読ませたい。身のまわりにある文様について知り、歴史の学習をしながら、時代の流れにそって形を知ったり、算数の図形の学習に活用したりでき面白そうだから。

**桔梗が丘南小学校**  
『瑠藻美術館』  
文・写真：おくあさむ 発行：福音館書店  
自然の中で生まれた極小のアーティストの作品は、誰しもが魅了される。写真を見ただけでも興味をひく事ができると思う。全学年に。

**桔梗が丘東小学校**  
『心のバリアフリーずかん』  
監修：なかのやすし 発行：ほるぷ出版  
4年生の総合的な学習の福祉教育の学習の導入にぴったりです。日常生活で当たり前になっていることを見直すきっかけをつくるのに読ませたい本です。

**つつじが丘小学校**  
『自然の材料と音の道具』  
著：ふかみつあしお 発行：さ・えら書房  
身近にある自然の材料で道具が作れるおもしろさを写真や絵で伝えられている。使ってみたいと思える本だと思います。

**すずらん台小学校**  
『世界のことばでこんにちは』  
著：ペトル・ハゲイット 発行：大月書店  
世界にはいくつの言語があると思いますか？あいさつをしたら、知らないひと同士でも仲良くなれるような気がする本です。

**梅が丘小学校**  
『ほげちゃんといぬのペロ』  
作：やぎたみこ 発行：偕成社  
1年生が大好きなほげちゃんシリーズの絵本です。読み聞かせをすると、真剣な表情で聞いていたり、おもしろい場面はおもいきり笑ったりと、子どもたちも楽しそうに聞いています。

**百合が丘小学校**  
『大接近！スノ-ツものづくり』  
文：たかやま 発行：岩崎書店  
スポーツ選手を支える人や物について、写真などで詳しくしょうかいしている。「古い携帯電話から金をとりだして金メダルを作る」なんてビックリ。

1冊はかぶるかな？と思っていたんですが、見事に色々なジャンルに分かれて紹介できました！本がどこにあるかわからなかったら、学校司書さんに聞いてみましょう。早速図書室に行ってみませんか？